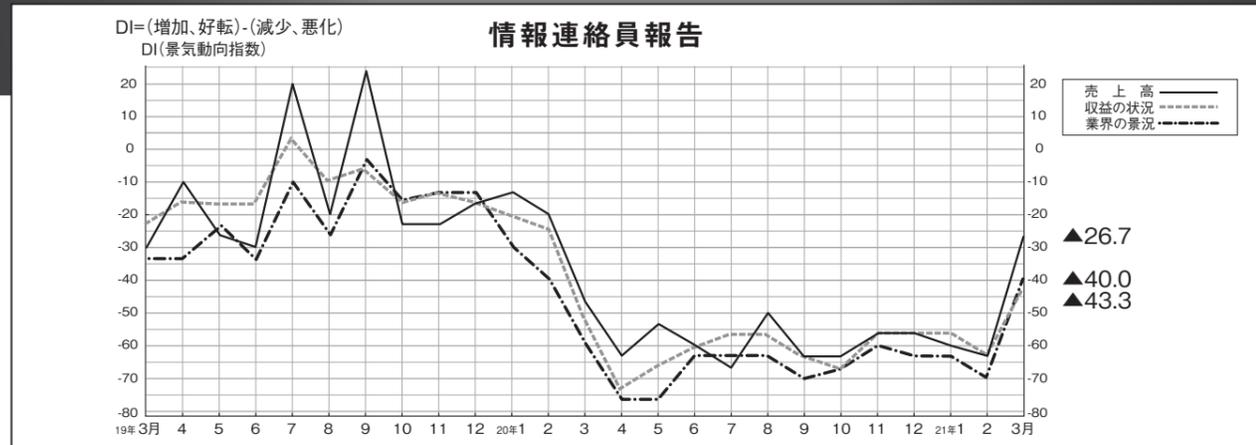


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2021年3月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>3月商況は、好不調のバラツキがみられ、県外市況はやや活発化している様子だが、高知県内市況は厳しい状況が続いている。観光、外食関連が引き続き不調。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>出荷量は前年同月比 93.7%で、地域的偏在がある。高知市を中心とする地区の市況は、全国一の低迷状態がなお続いている。新型コロナ対策に予算が割かれ、建設関連予算の削減が予想される。</p>
<p>酒類製造</p> <p>前年対比では増加となるが、前年度減少分の復活には程遠い状況である。依然として見通しは不明。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は、前年同月比123%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月分以降は、増減を繰り返し、令和3年3月分は上昇に転じた。</p>
<p>テントシート</p> <p>新型コロナ感染防止対策による、各種イベントの中止、延期等により全体的に売上減少。特にイベント関連主力の事業所は大変な状況。現在の状況が続くと思われるが、昨年同月よりは多少回復している。</p>	<p>機械団地</p> <p>団地内の業況は概ね前年並みの売上高や収益を確保できている。一部に新型コロナ禍による受注減を回復できない企業があり、感染の再拡大が懸念される。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>3月はスギ・ヒノキ共量は1割程度ダウン、材価は共に横ばい状況。外材輸入量の減少から一定国産材需要が増加傾向に転じる傾向がある。材価・量共に回復基調だが、現段階でも今後が確実に見通せないのが現状。</p>	<p>刃物製造</p> <p>受注及び受注残はあるが、品の仕上がり状況が悪く、思いの外売上げが伸びず前年を大きく割ってしまった。取引先により浮き沈みがある。新型コロナの波がまた大きくなっている状況の中、今後が心配である。</p>
<p>製材</p> <p>原木、製品共に不足しており価格は上昇気味、特に製品は海外を含め不足気味で、価格が上昇している。</p>	<p>船舶製造</p> <p>生産活動は高い水準で推移しているが、海外営業活動が停滞。</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>昨年のこの時期は、「デマ騒動」の余波で、多忙な県内家庭紙業界であったが、今年は、荷動きに回復が見られない。先の見えない状況がいつまで続くのか?</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>3月の取引額は前年同月比115%となったが、新型コロナ禍前の前々年と比べると24%であり、未だ復調の兆しが見えない。</p>
<p>印刷</p> <p>県内官公需、民需共に回復傾向。県外需要はまだまだ厳しい。前年対比は若干前年を上回った。ただ一昨年対比では割れている。先月よりは回復傾向だが、4月以降は新型コロナ感染の増大の影響が出る可能性が大。</p>	<p>卸団地</p> <p>1.ガソリン代が高くなってきた為、去年の状況より悪い。2.仕事量減少に伴い、配送のアウトソーシングを自社便に切り替える企業が増加。3.景気はますます悪化しているように見える。決算内容の悪化が想定。</p>

<p>青果卸売</p> <p>やっと、一昨年の数字まで、回復してきた模様であるが業務関係はまだまだである。量販店は依然好調だが業務関係はまだまだ。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>今年度の総会は懇親会は行わないという組合も多い。引き続き組合の賦課金は集めていない組合もある。「しまんとウォーク」の各商店街でのお接待がなくなり、藤まつり「公家行列」は中止でGWに入る。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>カツオは順調に入荷。小物の入荷は少ない。マグロは高値だが、需要が少ないので調整できている。安ければ需要はあると思われるが…取引先の注文は少ない。売り上げは伸び悩むと思われる。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>春休みに入り、多少の回復は見られる。ワクチン接種もペースが上がらず、すでに第4波・変異株の拡大が見られ、ますます先行きが不透明である。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>あまり状況に変化は無し。温かくなってきて、高知県の新型コロナの患者数も少なく、少し人が動き出すと期待したいが、人が動くと新型コロナも増加しそうで難しいところ。</p>	<p>飲食店</p> <p>昼間は相当戻ってきているが、夜間、特に飲酒を伴う営業が非常に厳しい。業界全体の売り上げは前年度比7割程度か。今後は集客、売り上げの低下により、廃業・閉店が増える恐れがある。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>原油価格の騰勢は収まらなかったが、月末とうとう下落したが、販売価格への転嫁が追いついていないために市況は逆に値上がりとなった。原油価格の動向は先が読めず安定しない事態が続くそう。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合前年度同月対比、売り上げは4倍であるが、新型コロナ感染拡大の影響が出ている月である為、売り上げが回復しているとはいえない。2年前同月対比で26%売り上げ。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>全商品平均で、前年比103.8%で好調だった。特に白物家電、冷蔵庫106%、クリーナー116%、テレビ102%であった。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>令和3年3月分の公共用生コン出荷量は、前月比71.6%、前年同月比88.0%。公共工事請負金額は前年同月比で150.6%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>先月より市場相場が例年並みに戻り、流通量も上昇傾向にあるが、販売面では、3月は前年と比べると微減。ただ、軽自動車、普通車ともに高年式、高グレードの動きが目立ち客単価は上昇している。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引き込み線工事量は、前年同月比85.8%となった。高知中央地区が減少したものの、香長、安芸、須崎地区が増加した。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>毎年3月には、ひなまつりのイベントが行われていたが、新型コロナの影響でイベントが実施されなかった。一部の店舗では雛人形の飾りつけを行い、来店者に少しでも華やかな気持ちになってもらう事ができた。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>燃料価格は上昇を続けており組合員企業は厳しい年度末となった。物量は緩やかに回復しているように見えるが新型コロナの感染拡大が止まらないなか新年度へ不安を残した。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比135.6%、台数:前年比128.4%。県内の新型コロナ感染者は減少傾向にあるものの、まだまだ県民市民の警戒心強く、人の動きは鈍いように思われる。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:76.9%、輸送回数:85.2%。実働率は48.3%。感染者が出ない日が続き、又出ても少ないのが関係してか若干人出が増え、利用者も多くなったのではないかと。</p>

五つ星の安心保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心 **GK**

クルマの保険 | 住まいの保険 | 人の保険

www.ms-ins.com